

45. 9. 20

No.63

発行 佐井村役場

# 広報さい

男	2506人
女	2593人
口	1,098世帯

## 水産物の水揚げ振わず

### 出稼者増える一方

スリと昆布の水揚げが振わず、これからも冬期にかけ漁家の出稼ぎが多くなるようである。

漁業は一つの「バクチ」と言われるように、毎年平均して漁獲高ではない。

昨年は海草、鮮魚も平均した水揚げで漁家所得も上昇し、漁師達は「今年も」と意気込んでいたが、予想に反して水揚げであった。

コウナゴは近年にない高値で一億円もの水揚げ、若布、ヤリイカは例年並み、昆布は昨年の三分の一を下回り約六万坪で四千万坪、特にひどいのはスリで昨年と比較し三百万坪で八分の一である。佐井漁場では今年の水揚げ

を三億九千万坪と予定していたが、現在二億円を少し上回ったばかり。佐井でも水揚げでは屈指の漁協組合員福田欽次郎氏は「コウナゴは近年にない高値で良かったが、昆布とスリでは私の家で三千万坪から六千万坪は違うでしょう。特に福浦、牛港では大きな痛手でしょう。」と語る。

漁協役員は頭を悩まして仕方なく「ウニ」の採取に踏み切ったのである。だがウニはかりでは「飯が食えない」ことから、漁家の若者達は関東以南に出稼ぎせざるを得ない。今日（八月二十八日）も若者が二十人ぐらいいの故郷を去ったのである。

漁協では昭和三十八年頃から「沿岸漁業構造改善事業」の「パイロット事業」として水産物保管倉庫や並型煮礁の低下を実施してきたが、今年度も製氷冷蔵車を建設中である。「県や村からの補助金はあるが、組合負担は着水夫によるウニとホヤの採取をしている。

のである。

これによって約三百万坪は組合に入るものの、この額はそっくりこの建設事業に投資してしまう額でしかない。」と役員は語る。

これから秋をひかえ、残す四ヶ月にはどうしても「フリ」の豊漁を頼ってやみません。

## みにくい海岸

### ゴミや残飯等の処理について

指定公園の指定に伴って、仏ヶ浦を訪れる観光客は年々増える一方です。美しいかぎりです。

観光船利用者、一方また自家用車による陸からの観光は今年八月まで約九万人もが村外から来てわが佐

井村をみて帰っています。

ここで、私達は観光客をむかえるにあたり、いろいろな面で観光客に対する心配いが必要です。「観光船に乘るため崖壁へ行ったら崖壁付近の海はゴミが多く捨てられとても見苦しい。」

というような声は観光客の中から  
数多く出ています。また、口には  
出さなくても岸壁へ行つたとたん  
に顔をしがめかっている客もあり  
ます。

本報に掲載のわめ岸壁でいろい  
ろ見てまわりました。

日暮れをかけて残飯などを捨て  
また、中には日中壺々とポリバケ  
ツを持って捨てに行っている人も  
見かけられます。

「ゴミ回集車は残飯など持って  
行かない」とは言わず、ナイ  
ロン袋、水分のもらない用器など  
に入れ、そのまま車に積んでもら

うよう五日おきの回集日にはづ  
とといったしよに出しておいてく  
ださい。

近く両佐井は特別清掃地域に  
指定されますが、岸壁付近だけ  
でなく、川や海浜等に汚物を捨  
てることと罰せられることになりま  
すから、どこでも捨てられると  
いう習慣をなくしましょう。

「佐井村は仏ヶ浦ばかりでな  
く、町中が清潔だ」というよう  
に、いつも明るく清潔な町に  
しようではありませんか。

### 民生課

## 青年団スポーツ大会開かれる

### 長後チーム優勝

去る八月十七日佐井村連合青年  
団(頭長宮川尚)では、第一回ソ  
フトボール大会を佐井小学校グラ  
ウンドで開催しました。

青年団では、昨年まで単位団  
(八単位団)が一室に集まり、  
親睦をはかる機会は一町ニケ  
村陸上競技大会予選会と云能港

表会だけでした。各団との交流  
は、各部若青年との交流になり、  
これからの佐井村を担う青年と  
して、スポーツを通じ、将来の  
佐井村についてお互い話し合い  
研究し合つて、青年団としての  
意義をあらしめたいものので  
す。

大会結果は次のとおりでした。  
優勝 長後青年団チーム  
準優勝 福浦青年会チーム  
三位 佐井青年団、幾合青年  
会

## 婦人体育大会も

### 連合婦人会で三百人出場

連合婦人会(会長三戸さきみ)  
では、この六日佐井小学校グラ  
ウンドで婦人体育大会を行なつた。  
青年団ソフトボール大会が開  
かれ、婦人会も若い者には負け  
じどこのような大会を催し、観  
客から盛大な拍手をあげた。

佐井村は昔からスポーツの  
盛んな村であった。特に、一  
町ニケ村青年団陸上競技大会  
は村挙つての応援であった。  
今日では孫をおもちの年輩  
の方々の野球チームは下北部  
でも最盛のチームとして有名  
であった。

婦人会では、婦人の交流と  
親睦をはかるためこの大会を  
開いた。一番の悩みは選手達  
の輸送であったが、佐井村漁  
協力でスムーズに進んだ。

大会当日は前日の雨天はど  
こやら、この大会を祝福する  
かのように秋晴れのさわやか  
な大会日和であった。  
「身仕度整走」から「リレ  
ー」まで「わっちゃん」も「か  
っちゃん」も「ぼっちゃん」も  
走り、踊り、こっけいな応援  
団で観客をわかせた。「リレ  
ー」では川目婦人会が一位と  
なり来年を誓い合「しあわせ

のうをいしで内会した。

# 住民税のあらまし

## 昭和45年度の税制改正

### による住民税の改正点

個人の道府県民税および市町村民税については、納税義務者の負担を軽減するため、昭和四四年所税法の改正に伴う給与所得控除の引き上げのほか、基礎控除および配偶者控除がそれぞれ一万円、扶養控除が二万円引き上げられました。

このような所得控除の引き上げにより、夫婦子供三人世帯の給与所得者の課税最低限は約十萬五千円引き上げられ、七二萬九千円になりました。また、障害者控除、寡婦控除、老年者控除および勤労学生控除についても、それぞれ一万円引き上げられるとともに医療費控除の限度額も十五万円引き上げられ三十万円になりました。

このほか、障害者、未成年者、老年者および寡婦についての非課税の範囲が、年所得三十二万円まで広がられましたので、昭和四五年年度の住民税は、全国で約六五四億円の減税が行なわれることになりました。

一、今回の住民税の主なものは次のとおりです。

(一) 基礎控除などの所得控除の引き上げによる減税

住民税の所得割は、納税義務者の所得の多少に応じて税負担を求める税金ですが、納税義務者に配偶者があるかどうか、また、扶養親族の数などを考慮して負担を調整するために一定額を納税義務者の所得金額から控除することになっております。

今回この基礎控除、配偶者控除および扶養控除の額が次のように引き上げられました。

区 分	45年度	44年度
1. 基礎控除	13万円	12万円
2. 配偶者控除	11万円	10万円
3. 扶養親族控除	5万円	6万円

(注) 控除対象配偶者と扶養親族の範囲

(1) 控除対象配偶者とは、納税義務者の妻または夫で、前年の十二月三十一日(前年の途中で死亡した人についてはその死亡の日)現在で、納税義務者と生計を一にする人であつて、前年中の所得が、次に該当する人はいません。

イ、所得のない人  
ロ、所得の全部が給与所得等だけの人で、その合計額が

十万円以下の人。

ハ、所得の全部が給与所得等以外の所得とがある人で、次の算式で計算した金額が五万円以下の人。

$$\frac{\text{給与所得} + \text{雑所得} + \text{退職所得} + \text{貸付所得} + \text{譲渡所得} + \text{雑所得}}{\text{課税標準額}} \times \text{課税標準額}$$

①「給与所得等」とは、自己の勤労による事業所得や給与所得、退職所得、雑所得のことをいいます。

② 扶養親族とは、前年の十二月三十一日(前年中の途中で死亡した人については、その死亡の日)現在、納税義務者と生計を一にする親族やいわゆる里子のうち前年中の所得が(1)の(イ)から(イ)までに該当する人を含みません。

(1)から(イ)までに該当する人を含みません。

(一)給与所得控除の引き上げによる減税

会社員とか公務員のように会社や官庁などに雇用されている場合に、その勤労先から支給を受ける給料や賃金、賞与などについては、その収入金額から給与所得控除が行なわれますが、昭和四五年度の住民税に適用される給与所得控除は昨年の所得税法の改正で引き上げられました。

(二)基礎控除などの所得控除の引き上げによる減税および給与所得控除の引き上げによる減税の適用は次のように整理されました。

一 基礎控除は、給与所得者で夫婦子供三人の家族で七十九万七千四百七十一円となりました。

課税最低限とは、どの位

の程度の収入の人が課税されないかということ定型的に捉えたものです。したがって、夫が給与所得者で妻と子供三人の家族では、昭和四四年中の給与、賞与などの収入金額が七十九万七千四百七十一円以下の場合には、住民税の所得割は課税されないということになります。

この課税最低限は、給与所得控除ならびに基礎控除、配偶者控除、扶養控除および社会保険料控除によって計算されるものですから(一)および(二)で述べたような控除の引き上げにより、昭和四四年度の課税最低限は六十九万五千七百七十一円にぐらへまな万五千三百〇四円引き上げられたことになりました。

二 夫婦子供三人で給料などの収入金額が百万円の人には約三四%の減税となります。

### 朝野球閉幕す

優勝 全林野佐井チーム

健全な体力づくりと親睦を深め、友好をわかち合うことをモットーに第四回目を迎える朝野球も、五チーム総当り戦で六月六日を夜切りに行なわれ、約三ヶ月を消化して九月四日閉幕した。

眠い目をこすりながらグラウンドに集う各選手、色とりどりのユニホーム、試合に真剣なまなざしは手に汗握る場面あり、笑いありで一喜一憂の感があった。そして大きいトケルおなく、負傷者も出なかつた事は非常に喜ばしいかぎりであった。求年度の健闘を誓い合い、四日、研修所で各部門での賞状、賞品授与を終え目をく暮を閉じた。

なお、優勝チームは九月二

日青森市で行なわれる県大会へ出場することになっており、青森市での健闘が期待されております。

各対戦成績は次のとおり。

優勝 全林野佐井 九勝二敗一分  
準優勝 南進会 九勝二敗一分

(同平天勝戦で全林野)

三位 役 場 三勝七敗二分  
四位 O B 三勝八敗一分  
四位 青井団 三勝八敗一分

### 中体連で蛇浦中優勝

佐井中は四位

八月二十九、三十日大間中学校グラウンドで開催された中体連体育大会で蛇浦中が優勝、佐井中は男子で一位となったものの、女子はふるわず四位にとどまった。結果は次のとおり

総合

優勝 蛇浦中学校

準優勝 大町中学校

三位 湯田潤中学校

四位 佐井中学校

七位 福浦中学校

八位 磯谷中学校

種目別

卓球(男子)

優勝 佐井中学校

準優勝 福浦中学校

(女子)

優勝 福浦中学校

準優勝 磯谷中学校

個人戦

卓球(男子)

一位 野本公雄(佐)、二位 磯川秀

道(佐)、三位 宮川亮一(佐)

卓球(女子)

一位 新田都々子(磯)、二位 志摩奈

々子(福)、三位 田中千由美(福)

国勢調査はじまる

九月二四日から十月五日までの間に調査員がお宅を訪問しますか

ら調査員について御協力ください。調査員は次のとおりです。

(惣吉中道) 佐賀公栄、(原南)

金沢清治、(同) 池田保雄、(

古佐井浜町) 樋口梨、(谷地町)

若山武夫、(緑町新町) 岩屋勝

(大町) 田中豊、(川原町) 松

樹直蔵、(大佐井浜町) 奥本正

明、(仲町) 宮川忠、(新町)

奥本好勝、(同) 奥本昭典、(

新町) 宮野政彦、(台場) 島野

満義、(矢越) 館脇敏明、(川

目) 今修一、(磯谷) 横安定男

(長後) 齋本正一、(福浦) 田

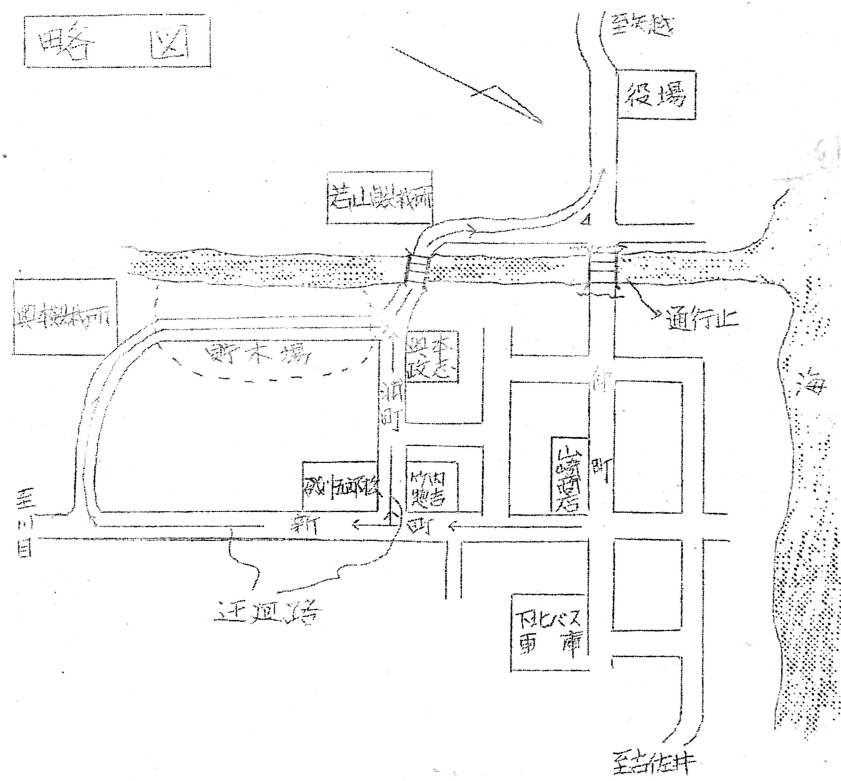
中徳助、(牛滝) 野村義勝、(

野平) 須田忠幸

大佐井橋の工事がはじまります

九月から通行止

昨年の台風九号で大佐井橋の中央が落ち込み、降雨の都度心配をされてきたが、このほど青森県では、この橋のかけ替工事を細川建設株式会社に依頼しまし



た。工期は九月一日から明年三月三十一日までの七ヶ月間で、この間、大佐井橋は全面通行止となる。

ります。大型自動車は、浦町の道路幅が狭く、車の通行に困難をきたすおそれがあります。ですから、営林署の薪木場を迂回してください。(営林署の勤務時間中) 迂回路は右の図のとおりです。

### 福浦漁港着工

防波堤九m・二二〇万円

長年の念願であった福浦漁港防波堤工事が着工された。

工事請負者は工藤建設(工藤十代夫氏)で、本年度は防波堤九メートルを整備するものである。

福浦漁港は村管漁業一種類港で、漁港と言えども施設がなかつた。これら整備のため再三調査をしたが、請負の事情で今日までのひびになつたものである。

来年度以降は補助事業として国県からの補助金等により防波堤の延長と、港内の浚渫(堀り下げ)を計画している。

### 家庭相談所開設

一日 時 九月二六日午後三時正  
一場 所 市役所市民相談室  
相談内容 家事一一般(家庭、土地、建物、金銭関係)  
相談員 市役所裁判所取員

### 川磯線も着工

六二〇mで七五〇万円

山村振興事業として四二年度からの継続事業である村道川目磯谷線も、川川建設株式会社(社長細川勇次氏)が工事を請負することになった。

川目、磯谷間の延長は二九八メートルで本年度六二〇メートルを工事すれば、一〇〇メートル、来年度は八八〇メートルの計画であるが、一部補修して川目と磯谷間を円通させる予定である。

### 人事移動

八月一日 運転手東出 尚 (採用)  
八月二六日 歯科診療所勤務 柴田いづ子(村立診療所)  
八月三十一日 書記補若山英子(選任)  
九月一日 民生課勤務佐賀よし

(歯科診療所)  
歯科診療所勤務大田晴子(採用)

### 戸籍の窓口

8月分

お誕生おめでとう

松澤みどり(喜勝)原田  
竹本 成喜(喜治)牛、適  
石臼 克彦(秋雄)古佐井  
上山 順也(勉)川目

結婚おめでとう

清水 一秀 能生町  
佐藤 京子 泉田  
船越 武 牛道  
坂井ちか子 牛道  
秋田 三雄 上磯所  
石臼 隆子 古佐井  
山口 達明 武蔵野市  
小林 英子 古佐井  
石崎 勝男 登別市  
西谷 桂子 大佐井  
越前 政教 高浦  
西中ひろ子 逗子市

### 村の井佐よい住みく明る

親切  
親切でやさしい心が友をよぶ。  
。 礼儀  
正しいあいさつ心をこめて  
。 清潔  
よこすな海は世界をつなぐ

若山 政 古佐井  
大畑 幸子 古佐井  
山村 寛一 旭川市  
若山ぬひる 古佐井  
近去おめでとう  
高田 俊一 古佐井  
田中 つま 磯谷